

## 1 題材名 「暗い場所で～光から生まれた、すてきな影の生き物～」

### 2 題材について

本題材は、新学習指導要領図画工作科 第3学年及び第4学年の目標(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする」に基づき、内容「A表現」(1)ア、(2)ア及び鑑賞(1)を受け、造形遊びをする活動を通して、形や色の働きについて考え、自分の見方や感じ方を広げること。また、意図や理由をもって表し方を選択決定し、自分の表したい想いやイメージに作品を近づけていくこと。さらに学んだことを整理したり、振り返ったりしながら、学びを内省し以後の学びに生かしていくことを主なねらいとした。

本題材は、様々な材料に光をあて、スクリーンに映し出される影の美しさや面白さを味わいながら、材料を組み合わせてたり、映し方を工夫したりしながら、自分たちの表したい想いやイメージに作品を近づけていくものである。影の形や色から受け取ることができる「感じ(印象)」から、造形的な視点をもって形や色の働きについて考え、表したい想いやイメージをもとに、表し方に意図や理由をもって選択・決定できるようにする。そのために、材料とかわりながら発想や想像を膨らませ、他者との交流の場で、造形的な視点をもって形や色の働きについて考えたりしながら、見方や考え方、感じ方を広げ、それらを表現に結び付けていくことが重要である。

### 3 題材の目標と評価規準

#### (1) 題材の目標

材料とかわりながら影の美しさや面白さを味わい、造形的な視点をもって形や色の働きについて考える。また、意図や理由をもって表現方法を選択しながら、自分たちの表したい想いやイメージに作品を近づけていけるようにする。

#### (2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
ア 材料と関わりながら、新しい影の形や色を作ることを楽しもうとしている。 イ 表したい思いに合った表現をもとめようとしている。	ア 表したい想いやイメージに合うような影の形や色になるように材料の組合せを考えている。 イ 「光から生まれたすてきな影の生き物」を楽しく想像しながら、影の形や色を考えている。	ア 材料の特徴を生かしながら、様々な表し方を工夫している。 イ 表したい想いやイメージに合うように、形や色の働きを考えながら表している。	ア. 影の形や色の美しさや面白さを味わい、伝え合っている。 イ. 影の形や色から受け取る「感じ(印象)」と造形的な要素の関係性に着目しながら、見方や感じ方を広げ鑑賞している。

### 4 本単元において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」

表したいことに合わせて、造形的な要素の特徴や美しさを感じ創造的に表現していこうとする姿

材料とかわりながら、影の形や色の美しさや面白さを味わう場面  
◎影の形や色から、想像を膨らませ、何かに見立てたり、特徴を捉えたりしながら形や色から受ける感じに着目し、影の美しさや面白さを味わう。

影の形や色から受ける「感じ(印象)」について、全体で交流する場面  
◎他者と共に交流しながら、影の形や色から受ける「感じ(印象)」の理由を探り、形や色(色彩の明暗・形の組合せ・材料の質感等)の働きや「感じ」から受ける感情との関係性について考えていく。

形や色から受ける「感じ(印象)」や働きを踏まえながら、表現を選択し、自分たちの表したい想いやイメージに合った表現に近づけていく場面  
◎自分たちの表したい想いやイメージに作品を近づけていくために、選んだ表し方に理由や意図・意味を見いだしながら表現していく。

### 5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり

本題材の学習前に、活動の意味や目的について児童と共有する時間を設け「様々な意見を出し合い、見方や感じ方を広げ、他者と対話し、協力しながら表現していく」という本題材の目的を達成するために、男女混合の班で活動することを確認している。4学年の学年経営年間プログラムに位置付けられた、「仲間と共に活動し自他の違いを感じながら自分なりのよさを発揮する活動を通して、集団の中での自己の持ち味や役割を自覚し、責任を持って最後までやりとおす学年・学級集団を創り上げていく活動」との関連を図っていきたい。

また、他教科との関連として、影の形や色の美しさやおもしろさを味わったり、楽しんだりする活動は、道徳の内容項目「3-(3)美しいものや気高いものに感動する心をもつ。」があげられる。さらに、3学年の理科の単元「かけと太陽」において、光と影の関係について学習している。太陽(光源)の方向や距離と影のでき方の関係性について、知識を表現に生かすことができると考えられる。

## 学習活動

## 一貫した主体的な学びをつなぐ手立て Ⅱ

1～2 材料とかかわりながら、影の形や色の美しさ、面白さを味わう。

関ア鑑ア

3 形や色の働きについて考える。発ア・鑑イ

【個の確立】前時に撮影した影の画像を提示し、影の形や色から受ける「感じ」に着目させながら、「感じ」の捉え方について視点を広げ、他者と交流することで、影の形や色から子供が豊かに想像を膨らませようとする姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

- 全体やグループで影の画像から感じたことを交流する中で、「さわってみたらどんな感じがしそう?」「あったかそう? つめたそう?」「何に似てる?」「角度を変えたらどう見える?」等、複数の視点に気付かせたり、他者の見方や感じ方を知ったりすることで、同じ影でも想像を膨らませて様々な見立てや捉え方ができることに気付けるようにする。
- 影の形や色から受ける「感じ(印象)」について全体交流する中で、「なぜそう感じるの? 理由は何だろう?」といった発問を投げかけ、形と色の働きについて考えられるようにする。

【個の内面化】ワークシート(学習プロセスシート)をもとに学習を振り返る場面において、形や色の働きについて学んだことを視点に振り返りを行い、次時の活動にどのように生かし、つなげていくことができそうかを整理し考えられるようにする。I-①

4 「光から生まれたすてきな影の生き物」をテーマに、豊かに想像しながら工夫して表す。(本時)発イ創イ

【個の確立】様々な材料の組合せによって出来る影の生き物の作例を提示することによって、題材に興味・関心をもちたせるとともに、学習全体への見通しをもたせ、子供が表したい思いやイメージをもって、主体的に学びに向かおうとする姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

- 前時に撮影した画像やワークシートから、形と色の効果や働きについて学んだことを振り返り、形や色と表したい感じの関係性に目を向けながら、考え表すことが出来るようにする。
- 構想を練る場面では、仲間と話し合いをする中で、ワークシートを活用しながら、イメージを言葉にしたり、アイデアスケッチを描くなどしたりして、表したいことが明確化・共有化できるようにする。
- 必要に応じて、表したいことが表れているか問うことで、作品に形や色の働きが十分生かされているか考えられるようにする。

【個の内面化】表したい思いやイメージをもとに、次時の活動に向けての課題を見付け、次時の具体的な見通しがもてるようにする。I-②

5～6 作品を表したい思いやイメージに近づけていく。発ア創イ

【個の確立】作品例から作品の課題について考えたり、様々な改善方法やアイデアを交流したりすることで、自分たちの作品の課題に気付く、試行や調整を繰り返し主体的に表現していこうとする姿を引き出す。

【見方・考え方を働かせる】

- 必要に応じて、表したことと表したいこととの関係性を問うことで、形と色の効果や働きについて着目しながら表現しているか考えさせる。

【見方・考え方を高める】

- 表したいこと(表したい思いやイメージ)をうまく表すことができていない作例を示し、形や色の効果をふまえ、意図や理由をもって表し方を選択する大切さに気づけるようにする。
- これまで試してきた表し方を部分的に組み合わせるだけでなく、新たな形を思いついたり、試したりできるように促したり、再考する場を設け、解決したことや課題を話し合い、思いに合った表現をもとめていくようにする。

【個の内面化】ワークシートを使って、本時で学んだことを整理し蓄積するとともに、本時で学んだことや気づいたことを次の活動に生かすためにどうしたらよいか問うことで、次時の学習に向け、主体的に学びをつないでいけるようにする。I-③

7 制作過程を振り返り、形と色の働きについて、他の学習や自分たちの生活との関連を考える鑑イ

【個の確立】色や形の働きが私たちの生活の中に、どのように役立ち機能しているかがわかる資料を提示し、学んだことを今後どのように生かしていけそうか考えられるようにする。

【見方・考え方を高める】

- これまで制作のために使ってきたワークシートから、制作過程の思考の流れや試行・調整などの学習プロセスを振り返ることによって、「学んだこと」と「表したこと」の関係性に気づけるようにする。
- これまでの学習を振り返り、形と色の働きについて整理する中で、形と色の働きについて考えられるような資料を提示し、学んだことと自分たちの生活との関連について考えることができるようにする。

【個の内面化】自分が表したかったことと表し方、本題材で獲得した学びの関係性に気づかせたり、「学んだこと」と自分たちの生活との関りに気づかせたりする教師の働きかけにより、学びの価値に着目して振り返りができるようにする。I-④

6 本時について（4 / 7 時間目）

(1) 本時の目標

「光から生まれた すてきな影の生き物」をテーマに、豊かに想像し、表したい思いやイメージを明確化しながら他者と協力し、影の形や色の働きを考えながら工夫して表している。

(2) 一貫した主体的な学びを「つなぐ」ために（個の内面化）

本時の目標を達成するために、様々な材料の組合せによって出来る影の作例を提示することによって、題材に興味・関心を持たせるとともに、学習全体の見通しをもたせ、表したい思いやイメージをもちながら子供が主体的に学びに向かおうとする「個の確立」につなげたい。

また、表したい思いやイメージ、形や色の働きなどを視点に、本時の学びを振り返り、ワークシートを活用して整理・蓄積していくことで、学習を振り返り学習内容の獲得を実感するとともに、次時に向け自ら課題を設定することができるようにしたい。また、学びや気づき、成果や課題を基に、次の活動に生かすためにどうしたらよいかを問い、次時の学習に具体的な課題をもって臨めるようにしたい。

(3) 前時の展開

学習活動	主な働きかけ	【評価方法】 個に応じた指導
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回は形や色について考えた。</li> <li>・形や色をうまく使ってもっと影で表したいな。</li> </ul> <p>2 様々な材料を組み合わせて作成した作品例を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・影が生き物みたい見える。</li> <li>・組み合わせると面白いね。作ってみたい。</li> <li>・ここは私たちの班の考えた影の形が使われているよ。</li> <li>・この形は何の材料だろう。</li> <li>・この感じ、あの動物の～の特徴を表しているね。</li> <li>・色々やってみたら私たちも作れそうだな。</li> </ul> <p>3 「光から生まれた すてきな影の生き物」をテーマに班で構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな動物がいたらいいね</li> <li>・あの動物、どうやって表そう</li> <li>・この部分はこの感じを出したいからこの材料を使ってみよう</li> <li>・この材料はこの部分に使えそう。</li> <li>・この生き物の～そんな感じは伝わるかな</li> </ul> <p>4 「表したいイメージ」をもとに試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここはうまくいったけど、ここが違うな。～のイメージにしたいな。</li> <li>・～の感じを出すのにこの材料はぴったりだ</li> <li>・この材料をこう変えてみたらもっとイメージに近くなった</li> <li>・色が変わるとイメージも変わるね</li> </ul> <p>5 班で再び話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～のイメージにしたいね。～の感じが出せるこの材料を使ってみようよ。</li> <li>・ここはうまくいったね。ここがイメージと違うから次これを試してみよう。</li> </ul> <p>6 「表したいイメージ」をもとに試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こっちの表し方がいいね。うまくいったね</li> <li>・表したいものに近くなったけどまだまだだね。</li> <li>・もっと良くしたい</li> </ul> <p>7 学習を振り返り、学んだことをワークシートに整理し、各班ごとに次時への見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色の働きをうまく使って表せたぞ</li> <li>・この形を表すにはこの材料が適している</li> <li>・色によってイメージが変わるな</li> <li>・この材料とこの材料をこのように組み合わせると、～の感じを表すことが出来る</li> <li>・次は、この部分をイメージに近づけたいので、これを試してみよう</li> <li>・完成までこのくらいの時間しかないから、この部分を改善しよう</li> </ul>	<p>□前回の学習で使用した写真などを提示し、前回までの学習を想起させる。</p> <p>【個の確立】</p> <p>□作例の提示を行う。</p> <p>「前回の学習で皆さんが生み出した影の形や色や、この影はこんな風に見えるよと教えてくれたことを参考にして、材料を組み合わせて作ってみました。」</p> <p>* 前回までは同じ種類の材料を使って影を生み出していたが、今回から様々な材料を使って影を生み出すことを伝える。</p> <p>□表したい思いやイメージが明確になるように、これまでの写真やワークシートを活用し、文字(キーワード)やスケッチで「表したいイメージ」を明確にして共有できるように促す。</p> <p>(必要に応じて)・この感じはどの材料で表そうと思ってる? ・この材料を使うのはどうして? ・見る人にどんなイメージを与えたいの? そのためには?</p> <p>□班で話し合った表したい思いやイメージ・アイディアスケッチ・形や色の働きを基に制作するよう促す。</p> <p>(必要に応じて)「このアイディアスケッチにはこう描かれているけど、どう工夫して表したらいいかな?」</p> <p>【見方・考え方を高める】</p> <p>□試行を通して、班ごとに再び作品を見直す中で「表したいイメージのキーワードを、思った通りに表すことが出来ましたか。」と問うことで、成果や課題を見つけると共に、ワークシートを活用しながら気付いた事や試したことを蓄積させていく。</p> <p>(必要に応じて)・どこが思ったようになりましたか。 ・どこを直す必要がありそうですか</p> <p>□「班の話し合いをもとにもう一度試してみましょう」</p> <p>□ワークシートを活用しながら発問を行い、学習を振り返り、次時への見通しを持たせる。</p> <p>「今日学んだことや気付いたことをふまえて話し合いましょう」</p> <p style="text-align: right;"><b>手だて I-1</b></p> <p>□ワークシートを活用しながら次時への課題を記述させる。</p>	<p>【発言】</p> <p>【他者との対話】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>▲ 試行する中で、新たに思いついた表し方や成果や課題、気付いたことなどを随時ふせんにメモを取ることを促す。</p> </div> <p>【発言・ワークシート】</p>